



こどもの四季

第1号
2019年
9月1日発行

編集: 副院長 岡本友樹



『こどもの四季』をリニューアルして再開します！

院長が定期的に発行していた院内報「こどもの四季」をリニューアルしました。子どもの病気やワクチンに関することなど様々な話題を提供できればと思います。今回は当クリニックの医師からのご挨拶と自己紹介、院長コラム、食物アレルギーのお話です。楽しく読んでいただくと幸いです。

院長よりご挨拶

おかもと小児科クリニックは、今年の12月に開設から25年目を迎えます。JR舞松原駅そばのMCビルから2015年5月に現在地に移転し、4年4か月がたちました。この間無事に地域の小児医療に携わってこられたことに感謝しています。



今年4月からは、総合病院で11年間研鑽してきた息子が副院長として2人で診療することになりました。2人診療になることで十分な時間をかけて診療するとともに、待ち時間を少しでも短くすることができると考えています。医学医療は日進月歩ですから、院長、副院長ともども日々研鑽し、地域の小児医療にこれまで以上に貢献したいと思っています。

当科の開設以来のスローガンは、①子どもたちのために何かをしよう ②子どもをタバコの害から守ろう ③「患者の権利」を守り、健康と平和を守りますです。

②については禁煙指導や院内禁煙化をいち早く取り入れてきました。①については「こどもの医療を守る会」という市民団体で、子どもの医療費の無料化に向け、安心して子どもが医療を受けられるよう運動してきました。③は戦争に反対し平和を守らなければ子どもの命と未来を守れないと考えさまざまな活動を行ってきました。これからも同じ考えで、診療を行っていきたいと思っています。皆さまのご理解をいただければ幸いです。

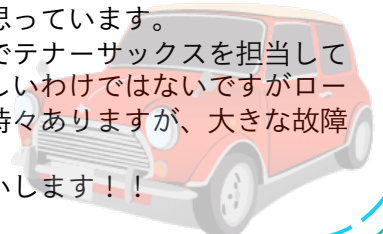
副院長よりご挨拶

こんにちは。4月からクリニック勤務となり早くも5ヶ月が過ぎました。院長にそっくりということもあり、だいぶ皆様に覚えていただけたように感じています。

私は今年で36歳、医師となり12年目です。ここ数年は小児気管支喘息や食物アレルギーなどアレルギー疾患を中心に診療を行ってきました。アレルギー疾患は普段の生活への影響が大きく、長く付き合う病気になりますので丁寧に相談に乗れたらと思っています。また男の子2人の父親であり、お父さんやお母さんたちと近い目線でお話できるのではと思っています。

自己紹介ですので私の好きなことについて…学生の頃は軽音楽部でテナーサックスを担当しており、下手の横好きではありますが今も音楽は大好きです。車は詳しいわけではないですがローバーミニに乗っています。少し古い車なのでちょっとした不具合は時々ありますが、大きな故障は滅多になく毎日元気に走ってくれています。

それでは、皆様のお力になれるよう頑張りますのでよろしく申し上げます！！



小中学校の2学期が8月27日から始まりました。以前は2学期の始まりは9月1日でしたから子どもにとってはちょっと損した感じでしょうか。高温多湿な日本の夏は、「酷暑」といわれるくらいで、子どもたちの健康を考えて「夏休み」があったと思います。しかし、最近は授業時間とか教室のエアコン装備とかで、夏休み不要などという議論もあるそうです。それでも気候変動による温暖化のため40℃を超える日もある日本の夏は、大人も子どもも相当体力を消耗して過ごしているのが事実です。長い夏休みを、心身ともにリフレッシュする期間として再考する必要があるようです。

さて、2学期は9月、10月に運動会を控えている学校も多いでしょう。夏休みで「疲れている」子どもにとって、運動会の練習が疲れに追い打ちをかけることも考えられます。暑い夏から過ごしやすい秋に季節が変わる反面、変わりやすい気候で身体をこわす子どもが多いのもこの季節の変わり目です。風邪も多くなり、喘息などのアレルギー疾患も症状が出やすい季節になります。1日の生活が不規則になりがちだった夏休みから、学校生活が始まって1日が規則的になって体調を整えやすいという面もありますから、大人はよく子どもたちを見守ってやりたいと思います。

食物アレルギー



最近テレビなどでも特集されることが増えてきましたね。食物アレルギーは乳児(1歳未満)で10%、3歳児で5%程度のお子さんにみられます。

原因となる食物は乳幼児では卵・牛乳・小麦・大豆が多く、年齢が上がるとピーナッツやナッツ類、甲殻類などが増えてきます。多くの場合は原因となる食物を食べて2時間以内に蕁麻疹など皮膚の症状がみられますが、嘔吐や下痢、腹痛、咳や喘鳴(ゼイゼイという呼吸)などがみられることもあります。

疑わしい食品は血液検査や皮膚テストなどを行います。検査結果と実際に食べられるかどうかは一致しないことがあるため、食物アレルギーを疑うエピソードがないのに検査をする必要はありませんし、検査結果は慎重に判断する必要があります。

年齢が上がると食べれるようになることが多いですが、最近の研究ではアレルギー症状がみられない程度の少量を食べ続けた方が、より早く食べれるようになることがわかってきました。

食事は毎日のことですので親御さんはとても不安になります。大事なことは「初めて食べる食品は少量から開始する」ことです。お子さんの食物アレルギーについて気になることがあれば、いつでもご相談ください。

(副院長)

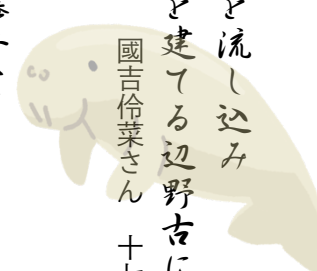
Rose Memory



今年の短歌甲子園で団体戦準優勝の昭和薬科大学付属高校の高校生作品。
國吉さんの作品は「特別審査員小島ゆかり賞」を受賞。

灰色の箱が生み出す爆音は
今か 咲く花ただ揺らすのみ
島袋乃碧さん 十七歳

碧海にコンクリートを流し込み
儒艸の墓と建てる辺野古に
國吉伶菜さん 十七歳



お知らせ♪

8月中旬に玄関ポーチを駐車しやすいよう改装しました。

【ローズホールイベント】

タティングレース教室 (初級)

日時：9月28日(土) 13時～15時
参加費：1,000円/人 (材料費)

子育てカフェ

日時：10月8日(火) 13時～14時半
参加費：無料
内容：インフルエンザとワクチン



おかもと小児科クリニック

〒813-0025
福岡市東区青葉2丁目8番34号
TEL: 092-691-0012
FAX: 092-691-0013
HP: <http://おかもと小児科クリニック.com>